

2015 年
2 月 22 日(日)

13:30~16:30 グランフロント大阪

地域を舞台にした 「ESD いのちをつなげる教育」 フォーラム 2015

～地域総がかりで ESD（持続可能な開発のための教育）をすすめるポイント～

持続可能な社会づくりについて教育を通して取り組んでいくには、子どもたちが自分の住む地域を知り、好きになり、守るための行動をおこしていくことが大切です。自然に親しむ環境教育から一歩進み、子どもたちが社会の一員として、いのちをつなげる行動力を育てるためには、学校、そして地域では、どのようなことにポイントをおけばよいのでしょうか。また、どのようなしくみが必要なのでしょうか。近畿 2 府 4 県の実践事例とパネルディスカッションを通して一緒に考えましょう。

○2002 年のヨハネスブルグサミットで我が国が世界に提唱した「ESD(持続可能な開発のための教育)の 10 年」が、2014 年に最終年を迎え、11 月には岡山市と愛知県・名古屋で国際会議が開催されました。そこでは、これからも学校と地域が連携・協働した取組を継続発展させることが世界で約束されました。

場所：グランフロント大阪

ナレッジキャピタル
カンファレンスルーム B01
(グランフロント大阪北館 Tower B 10 階)
JR 大阪駅/阪急梅田駅すぐ



- 対象 象:教職員、自治体職員(教育委員会、環境政策担当者
市民協働担当者など)、ESD に関心のある方など
- 定 員:60 名(先着順)
- 申込締切:2015 年 2 月 18 日(水)
- 申込方法:Email もしくは FAX にて、参加者全員のお名前
所属、連絡先(E-mail 等)をご記入のうえ
下記までお申し込みください。

E-mail : office@kankyokan.jp

FAX : 06-6940-2022 ※メールまたは FAX にて受付完了をお知らせします。

主催:環境省近畿地方環境事務所、近畿「ESD 環境教育プログラム」作成・展開事業実行委員会
協力:近畿環境パートナーシップオフィス(きんき環境館)

後援(申請中):滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、東近江市、京都市、大阪市、丹波市、奈良市、
滋賀県教育委員会、京都府教育委員会、兵庫県教育委員会、大阪府教育委員会、奈良県教育委員会、和歌山県教育委員会、
東近江市教育委員会、京都市教育委員会、大阪市教育委員会、丹波市教育委員会、奈良市教育委員会

■スケジュール

13:15	開場・受付開始 (グランフロント大阪 ナレッジキャピタル カンファレンスルームタワーB-01)
13:30	開会・開会挨拶
13:35	趣旨説明等
13:40	基調講演「あるもの教育」から「ないものを創る教育」へ ～ESDの次のステップへ～ 前園 泰徳さん(福井大学大学院 教育学研究科 特命准教授)
14:00	近畿「ESD環境教育プログラム」作成・展開事業 実践事例紹介(タイトルは仮題) 【滋賀】東近江市立能登川南小学校「里山エコスクールー猪子山の自然と暮らしを科学する」 【京都】京都教育大学附属京都小中学校/京都市立桃山小学校/京都市立梅津北小学校 「ESDにおけるモビリティマネジメント教育」 【大阪】大阪市立伝法小学校「大阪湾アマモ育成授業」 【兵庫】丹波市立遠阪小学校「遠阪川博士になろう！ー水生生物による水質判定ー」 【奈良】奈良市立佐保小学校「佐保に生きるービオトープを育てるー」 【和歌山】和歌山県立みはま支援学校「私たちのみはまの海を考える」
15:00	パネルディスカッション(会場参加型)
16:10	まとめ
16:20	閉会挨拶
16:30	閉会・アンケート回収

※時間は進行状況によって多少変更する場合があります

【近畿「ESD環境教育プログラム」作成・展開事業実行委員】

長友 恒人(奈良教育大学 学長)

米田 伸次(公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 理事)

井阪 尚司(元滋賀県環境学習支援センター 所長/山内エコクラブ 理事)

水山 光春(京都教育大学 附属教育実践センター機構長・社会科学科 教授)

城者 定史(大阪 ECO 動物海洋専門学校 教務副部長)

足立 勲(宝塚市自然保護協会 会長/自然体験教育研究所 主宰)

中澤 静男(奈良教育大学 次世代教員養成センターESD・課題探求部門 専任講師)

平嶋 健太郎(和歌山県立自然博物館 主査学芸員)

○環境省「平成26年度 持続可能な地域づくりを担う人材育成事業に係るESD環境教育プログラム」作成・展開事業

環境と経済と社会が統合的に向上する持続可能な地域づくりには、優良な環境教育プログラムを通じた人材育成が必要不可欠と考えています。本事業では持続可能な地域づくりを担う人材づくりの先進地域を速やかに形成することを目的とし、環境省がとりまとめたモデル的なプログラムを基に、都道府県1つずつ地域性を踏まえた小中学生向けのESDプログラムを作成・実証を行っています。(特設ホームページ <http://www.geoc.jp/esd/>)

<お問合せ>

近畿「ESD環境教育プログラム」作成・展開事業運営事務局(きんき環境館気付)担当:成山、森
TEL:06-6940-2001 FAX:06-6940-2022 E-mail:office@kankyokan.jp